

地域開発特別委員会会議録

○日 時 平成27年2月2日（月） 午前10時00分

○場 所 第一委員会室

○協議事項

(1) 新体育館に関する市民アンケートの内容について

・会派での意見集約の内容について

(タウンミーティング資料【5市議会特別委員会に提案した3つのプラン】について)

(2) その他

○出席委員

委員長	西條	富雄	君	副委員長	青木	博文	君
委員	宮田	伸子	君	委員	横沢	英一	君
委員	金子	勝寿	君	委員	古畑	秀夫	君
委員	鈴木	明子	君	委員	中村	努	君
委員	塩原	政治	君				

○欠席委員

委員	務台	昭	君	委員	青柳	充茂	君
----	----	---	---	----	----	----	---

○説明のため出席した理事者・職員

生涯学習部長	岩垂	俊彦	君	スポーツ振興課長	青木	実	君
体育施設係長	田下	高秋	君				

○議会事務局職員

議事調査係長	上村	英文	君
--------	----	----	---

午前10時00分 開会

○委員長 皆さん、おはようございます。本日は前回の委員会で、市民へのアンケートで市民に問う内容を決めるに当たって、建てる場合の案を一本化することについて、会派の意見を集約してから再度協議するという結論に至りましたので、委員長の招集できよう招集をお願いしました。

なお、きょう自由民主クラブの青柳充茂委員、それから務台昭委員は欠席ということで、自由民主クラブの会派での話し合いの結果は、私が承っております。それから、輝星会の宮田委員につきましては、ただいま所用がありまして、こちらに今向かっているということでございますので、それでは始めたいと思います。よろしくお願ひします。

(1) 新体育館に関する市民アンケートの内容について

・会派での意見集約の内容について

(タウンミーティング資料【5市議会特別委員会に提案した3つのプラン】について)

○委員長 それでは、早速ですが、各会派で取りまとめた意見を御発言いただきますようお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。発言は会派順でお願いします。なお、確認しますが、前回の委員会でタウンミーティングの資料で示された市議会特別委員会に提案した3つのプランをもとに話し合うっていうことに決定しましたので、そのあたり踏まえてお願いします。それでは、まず新政会からお願いします。

○金子勝寿委員 新政会では大変多くの時間を、今までになく割いて議論をさせていただきました。結論としては、これをもとにすることですよね。

○委員長 そうですね。

○金子勝寿委員 2案ですね、No. 2、具体的な設置案の2案。2案をですね、2、No. 2。B案、Bって読むんです、これ。

○古畑秀夫委員 2じゃない、A、B、Cだよ。

○委員長 これ1案、2案ってありますので。この資料は、1案、2案ですから。

○古畑秀夫委員 5って書いてあるじゃん。

○金子勝寿委員 5。

○古畑秀夫委員 5のさ、市議会特別委員会に提案したっていう。

○金子勝寿委員 これね、じゃあB案ね。失礼をいたしました。B案をお願いします。

○委員長 それでは、明政会、お願いします。

○塩原政治委員 うちでは、つくる、つくらないは別としまして、つくとすればB案に近い開発誘導エリアということで全員一致です。

○委員長 ありがとうございます。続いて市民派連合。

○古畑秀夫委員 私たちのところもA、B、Cってやっちゃうと、もし建てるっていう場合にも意見割れちゃってわかりづらくなるんで、Bのほうがいいじゃないかと。Aはいろんな困難があるということで、B案に一本化してアンケートをとったほうがいいじゃないかということでした。

○委員長 自由民主クラブは、ちょっと後で私が報告します。市政同志会、お願いします。

○副委員長 うちの会派もB案ということですね、A案は、ちょっと非常に問題もありますので、B案のほうがこれからですね、少しでも多くの敷地を運動施設としてやる場合でも可能であるということで、B案にしたいと思います。

○委員長 ありがとうございます。続きまして、公明党、お願いします。

○中村努委員 B案をお願いします。

○委員長 ありがとうございます。日本共産党、お願いします。

○鈴木明子委員 うちでは建設というのには反対をしている立場なので、一本化をして聞くっていうことにどうしてもなれば、Bで聞くのかなということになると思うんですが、私たちとしては、アンケートをとるっていう中身についてまで踏み込む必要はないんじゃないかという、とるっていうことは市として決めて行えばいいことで、

中身について地域開発特別委員会として一本化をしてまとめていくっていうことは、しないほうがいいんじゃないかということが、この間打ち合わせの中で、そういうことが出されましたので、そういうことです。

○委員長 ありがとうございます。輝星会は、ちょっと遅れてきますので後ほどにしまして、自由民主クラブからいただいている御意見は、アンケートの内容については、議会がどうこう言うことじゃないから、それはやめろと。それから、A案、B案って決めるのも、新しい議員になってからのことであって、ここで早急に決めることじゃないから焦ってやるなという、ちょっと言葉は、ごめんなさい、汚い言い方してますが、そんなことでお叱りに似たようなお電話をいただいたことで報告します。ですから、自由民主クラブは、ここはA、B案決めてないと、アンケートに対しても決めてないということです。輝星会がちょっとまだ出ておりませんが、発言の内容をお聞きするとやはりB案という案が多いようでございますが、とは言え、今、アンケートの内容についてはやるなとか、あるいは決めることじゃないというような意見もありますが、これは議案ではないので多数決をとって決定すべき性質のものでもないと考えますので、ここからは今の意見を聞いた上で議論を深めながら、建てる場合の案を一本化できそうであれば一本化したいと思います。もし一本化するとすれば、会派の意見をお聞きする限りB案になろうかと思いますが、まずはB案にすることについて、もし反対の意見ありましたら、その辺の反対の意見をお聞かせください。

○鈴木明子委員 ここで一本化するっていうことは、議会が建設方向を出したっていうふうには受け取られないかなっていうことを思うので、議会の特別委員会として建設の方向にゴーサインが出るみたいなイメージがとられないっていうことが大事ななことで、どちらかと言えば、自由民主クラブみたいなことだと思うんですけども。ここで今の議会として、その結論に何か誘導的なことになりかねないので、この委員会として結論を出すというのに一本化ということが難しいのではないかなあという思いですが。

○委員長 前々回の委員会のところで、建てる、建てないという方向なら、建てるとしたら一本化したほうが市民はわかりやすいんじゃないかということで、今回の建てるとした場合にはどっちかということで、各会派でお話し合いをしてきてもらったことでございますが、そのつもりで今も御質問申し上げたんですが、ほかにそんなような御意見、あるいはほかの意見ありましたらお願いします。

○横沢英一委員 今、少しちょっと確認をさせていただきたいのは、要は建てる場合はAかBか、そしてCを残してBとCということですよ。ということは、やっぱり鈴木委員、今言われた中のとはちょっと違ってらるもんですから、そこら辺を私はBとCという形になるもんで、そういうことを択一していくってことですから、私はいいんじゃないかと思えます。

それと、やはりですね、次の特別委員会ね、新しいメンバーでって、それは確かにそうかもしれないですが、私どももね、このメンバーで2年間論議してきたはずだと思うんですよ。そのときに何にも決めなんでおいて次の衆に、それじゃ渡すっていうことが果たしてこの特別委員会としてね、いいだろうかと考えたときに、やっぱりもう少し論議を深めてある程度の方向づけをしていったほうが、私はいいんじゃないかと思うんですがね、と思っています。

○委員長 ありがとうございます。ほかには御意見ございますか。

○古畑秀夫委員 私も今、横沢委員言うようにかなりの時間を割いてね、やってきてるんで、一定の方向性は今回の特別委員会を出して、恐らくまた新しく4月の選挙を終わった後に当然もっと具体的に掘り下げた部分って

というのは、特別委員会なり設置してやっていくことになっていくと思うんで、それはそれとしてまたね、議論して進めていけばいい話で、今の段階で我々に与えられた部分っていうのは、一定の方向性出したほうがいいと思いますので、横沢委員と同じ意見でございます。

○委員長 ありがとうございます。ほかにはよろしいでしょうか。

いろいろな意見をお伺いしますとB案を推す声も多いことは事実であります、反対の意見もあります。アンケートの内容については、建てる場合はこの案として一本化したいということで議論を進めてきましたが、本日の議論をお聞きすると全員一致で一本化ということではできないと判断します。最初にもお話をしましたとおり、この委員会としての行政側にアンケートの案を提案することは議案の審議ではないので、全員一致でないといけないと考えます。委員会として提案は難しいとなりますと、このアンケートについての意見は、この3月議会的一般質問の場で議員個々の立場で、それぞれのお考えを行政側に提案していくことになるかと思えます。

○横沢英一委員 今の論議をね、してるので、それじゃ多少反対がいたので結論を出さない。それで3月の、それじゃ一般質問でしろ。それじゃあちょっと何のために今まで2年間せ、みんながせ、論議をしてください。特別委員会ってのはせ、恐らくそれを任されてる部分もあるもんでせ、やっぱり委員長、もうちょっとそこら辺はあれしてもらわないと、方向づけをある程度示したほうがいいと思うんですがね。何かそれじゃ今まで、今意見聞いたことが何にも生かされてないじゃんかい。

○委員長 ちょっと弱気になっちゃってますかね。

○横沢英一委員 いや、弱気とか強気とかっていう問題じゃないじゃんかい。委員長としては、やっぱり何かの方向づけをしていったほうがいいと思うんですがね。

○委員長 わかりました。今の意見も参考にしながらB案を推す声が多いということで、この委員会の報告は仕上げようと思えますが、ここ決をとる場じゃないもんですから、B案の意見が多かったということで、この委員会はある程度方向を出したということでまとめていきたいと思えますが、いかがでしょうか。いいでしょうか。

○鈴木明子委員 再度確認ですが、それをB案にっていうことは、アンケートをとるときにつくるかつくらないかを問うときの、つくる形としてBっていうことですよ、つくる場合の形としてB。

○委員長 そうです。

○鈴木明子委員 わかりました。

○委員長 つくる場合はBであって、C案も残すというアンケートでお願いしたいという方向で、この特別委員会はまとめたと思えますが、いかがでしょうか。

〔「いいんじゃないの」の声あり〕

○委員長 はい、ありがとうございます。では、この委員会の結論については、そのようなことでいきたいと思えますが、委員会の最終的なまとめについては、慣例で4年に一度の議員の任期の最終の3月定例会の場において、特別委員会委員長の審査報告等が設けられていますので、本会議場の場においてきちんとまた報告したいと思えます。議論のまとめは本会議場の場で、公の場で委員長の審査報告という形で報告し、このメンバーでの特別委員会は一旦閉めたいと思えますが、よろしいでしょうか。

○中村努委員 要は、この特別委員会の結論というのは、3月の本会議で委員長の例年ね、特別委員会最後のときやったことを結論としてするということで、特段、特別委員会の結論はこうですよということを市長側に、

議決案件ではないのであれなんです、何かその辺は考えていますか。

○**委員長** ということは、例えば文書で作成して提出するというのでしょうか。それについてはどうでしょうか。

○**金子勝寿委員** 中村委員が言ってるのは、いわゆる議決案件じゃないから本会議場で報告するのは、どうって話ですよ。引継ぎするしないじゃないんですよ。形に残すかって話なんですよ。もうちょっとかみ砕いて。

○**中村努委員** 例年ね、特別委員会2年ごとやってるじゃないですか。それで、要は特別委員会として何をやってきたかって報告は、この議案あるなしにかかわらずずっとやってきてるもので、それを結論とするのか、しっかり議論した結果はこうでしたよってことを残して行政側に返すのか、その辺どうするのかっていうこと。

○**金子勝寿委員** 確認ね。正副委員長と議長と例えば行って、市長側に委員会としては、今あったB案とC案でアンケートをとることが望ましいという結論を、例えば文章なりにして行政側に投げ返すのか、それとも本会議場でこういうふうなB案とC案が望ましいということになりました、の報告にとどめるのか、手続きなんですよ、最後にそれは。

○**委員長** 今、金子委員がまとめてもらった感じと、そういう方向でいきたいと思いますが。

○**金子勝寿委員** そういう方向、どっちだ。

○**委員長** いわゆる本会議場で、この特別委員会におきましては、B案、C案ということのアンケートで要望したいということでまとめた報告をしたいということでいきたいと思いますが。どうでしょう、ほかの方は。

○**古畑秀夫委員** 先ほど、大方はね、そういうことでB案に一本化したほうがいいじゃないかということだったけど、共産党の会派と自由民主クラブの会派は違った意見もあったんで、そういうのもつけ加えて、こういう意見もあったということも報告してもらったほうがいいと思います。

○**委員長** そうですね。済みません、私の言葉足らず。そのようにまとめたいと、私は思っていたんですが、ちょっと足りなくて済みません。

○**金子勝寿委員** じゃあ、報告の仕方はそういうふうにして、もう1点、僕が最初に言わなかったからいけないんですが、なぜBかって話を委員会ですてなくて、きょうマスコミの皆さんもいらっしゃるので、議会としてはなぜそういう結論に至ったのかと。そういう論点の整理と理由の提示、あとどういうデータをもとにやったのか、一般的にはそれが一番私たちのやらなきゃいけない仕事なんです、先に僕が言っていきますので、うちの会派であった議論は、やはりAについては、地元でも駐車場、それから区の行事等で活用されてることと、土地、いわゆる平方メートル当たりの単価ですね。土地単価から考えれば、あそこに大きなものをつくって、今すぐ体育館にしてしまうよりは、開発誘導エリアのほうが土地の活用という観点であっては、いわゆる高い土地にわざわざ大きなものをつくってしまうよりは、より今後の市の全体の活性化という意味では、開発誘導エリアに体育館を設置したほうが、今の高出の中央スポーツ公園の、いわゆる駐車場というか、のほうが市としての利益は高いのかなという議論がありました。そのほかにはですね、やはり松本歯科大学が近いということで、健康面でのいわゆる介護予防、予防医療という観点からの連携をしていくことによって、結果的に医療費の削減等につなげられるのではないかと。かつですね、いわゆる西通線のいわゆる市の全体の道路整備にあわせて将来の塩尻市のまちづくり、また人口減といったところに至ったときに、体育館はもちろん高出のほうがコンパクトシティという提案ではいいかもしれませんが、それよりも今後のまちづくり、これまでの計画してきた中の計画をより実現さ

せていくためにも体育館が開発誘導エリアにあって、かつ西通線が整備され、新しいまちをつくって人口減というところに歯どめをかけられるのかなといったところです。その他いろいろありますが、また高出地域は、当初は私が当選したころは、地元もここに体育館が来てもいいよといった雰囲気でしたが、近年、やはりあそこは高出地域にとっては大切な場所だから、できれば体育館はあそこのスペースを潰してしまうよりは、開発誘導エリアにお願いしたいという声のほうが多いというふうに地元議員が強く主張しておりました。いずれにしても、体育館建設の議論がステージが上がったときは、Aのほう望ましいということでしたが、時代の流れや、いわゆるまちの整備の状況等さまざまとこを考えた上でBになっていったのかなあというところが、当会派で話し合った結論です。以上です。

○**委員長** ありがとうございます。輝星会の宮田委員が今お見えになりましたので、ちょっとここまでの経過は、アンケートの内容について、建てる場合であればA案なのかB案なのか。C案を残しながらA案、B案を一本化したいということで、各会派で決めてきてもらっているんですが、各会派B案を推す案が多い中で、自由民主クラブと日本共産党さんが、これについてはアンケートをしなくてもいいじゃないかとか、それから内容についてもまだ決めるべきじゃない。特に自由民主クラブについては、新しいメンバーで決めてくれというような意見で承っております。輝星会さんとすれば、建てる場合の一本化するのであれば、A案なのかB案なのかちょっとお聞きをしていますので、発言を求めます。

○**宮田伸子委員** 遅れてきて申しわけありませんでした。アンケートをとるに当たってA案なのかB案なのか、どちらかの1つの案を出すという中では開発誘導エリアのB案のほうで、A案のほうは、先ほども金子委員のほうから御意見がありました、やっぱり高出地区の方があそこのスペースに体育館を持ってきてほしくないという意見が私のほうにも届いておりますので、B案のほうがいいとは思いますが。ただアンケートをとるか、とらないかということに関しては、今、ほかの共産党の方と自由民主クラブの方が御意見を出されていたように、次の方たちでまた話し合ってもいいのではないかと考えております。

○**委員長** ありがとうございます。それぞれ議論を深めてる中で、先ほど新政会いただきました。次、明政会につきまして、B案に至った経過あるいは理由がありましたら、お願いします。

○**塩原政治委員** 今、金子委員が言ったように、うちでも基本的にはそれ。まず一番懸念されることは渋滞問題ですね、高出の場合は。それと郷原の場合は、ある程度は自由がきく。それから近くに運動場もある、歯科大の。ということになると総合運動場に近い形に持っていけないんじゃないか、そんなところです。

○**委員長** ありがとうございます。続きまして市民派連合。

○**古畑秀夫委員** 私のところも地元区の反対、それから道路の渋滞の問題などで、やはりBのほうがいいんじゃないかということで、例えば、体育館、あそこへAで建ててしまいますと、体育館、いろんな問題でその都度駐車場を開発誘導エリアで橋越さなきゃいけないということになってきて、使い勝手がかなり悪くなるということが考えられますので、そういう部分からしてBのほうがいいと。もう1つは歯科大の話もありましたが、歯科大の総合グラウンドというか、そういうのもありまして、そこんこを使つての市がいろんなことで行事やる場合でも、もし体育館のところがあていれば、使つてなければ駐車場として使用できたりということで、いろんな部分総合的に判断して、やっぱりBのほうがいいんじゃないかという意見でありました。

○**委員長** ありがとうございます。自由民主クラブはそういう話でございますので、市政同志会お願いします。

○副委員長 うちも皆さん言っているような意見なんです、交通量の問題がですね、非常に大きいわけでありまして、それでまた横にですね、消防署兼救急がありますので、競技をやってですね、サイレンが鳴るといようなこともありますと、競技をやっても非常に精神的にもいけないんじゃないかということもあります。いずれにしても、私なり会派の意見としては、最初の意見はやはり運動施設っていうのはですね、1つのところにまとめたほうがいいわけですが、現実的には塩尻ではそういうわけにはいかないから、このエリアの中でですね、この近くには中央スポーツ公園、体育館、それから総合グラウンドというのが比較的近い距離にありますので、このエリアをもってですね、やっぱり塩尻の市立の運動施設をここら辺に集中して持ってきてやると。ちょっと市営球場は離れておりますが、小坂田公園のプールの問題も出てますがちょっと遠すぎると、小坂田公園のはですね、そういう意見が市民から多いわけです。だからスポーツエリアをですね、一極集中はできないんですが、その周辺にエリアとしてつくって、これから考えていったらどうかということで、附帯のほうでもですね、体育館の用地と言うんじゃないで、スポーツのエリアの用地として、少しでも余裕を持った土地をですね、確保していただきたいというのが、B案の意見です。

○委員長 ありがとうございます。B案を推す会派につきましては、次は公明党さん、お願いします。

○中村努委員 まず、新体育館が必要かどうかということについてはなかなか判断できない状況ですので、この市民へのアンケートの結果に委ねたいというのがまず1点で、最終的にA案、B案、つくるとしたらそこという形で集約されてきておりますが、前回は実現性について質問したわけですがけれども、どうもA案のほうですと、近隣の皆さんの合意形成も難しい中で、地区計画等の変更というのはかなり困難で現実的じゃないんじゃないかなという印象を受けましたし、さらに交通渋滞の問題、雪捨て場の確保の問題等がありますので、A案というわけにはいかないだろうということで、残るのはB案しかないのでB案ということになります。

○委員長 ありがとうございます。日本共産党さんは反対であるが、建てるであればB案がいいじゃないかという御意見もいただきましたが、その辺は何か意見ありますでしょうか。いいですか。

○鈴木明子委員 消去法でいけば、そういうことになるわね、積極的ではないですが。

○委員長 はい、わかりました。

輝星会さんは、その辺、もういいです、追加の発言あります。いいですか、さっきので。ありがとうございます。

そうしますと、やはりB案につきましては、そのような理由、いわゆる駐車場の問題、あるいは区民への渋滞による影響、渋滞だけでなくいろいろな弊害が出てくるということで、このB案を推す案についての理由がいろいろお聞きできました。これを資料に入れながら、この地域開発特別委員会においては、建てる場合であれば、反対の意見もあったけどもB案をとということでまとめていきたいと思えます。そして、アンケートについては、行政側も言っております夏になるのか、秋になるかわかりませんが、そのアンケート実施については、行政側でやっていただくということで、そこまで議会が入っていくことじゃないと私は判断しまして、この件につきましては、建てるのであればB案の意見が多かったということでまとめていきたいと思えます。今までのところで、何かほかに御意見あれば、よろしいでしょうか。そういうことで、この委員会においては、このような審査報告をし、まとめたものを報告して、3月の委員会ところで報告したいと思えます。

以上で、この特別委員会は一旦閉めたいと思えますが、よろしいでしょうか。

○中村努委員 ちょっと今度、行政側に確認なんですけど、きょう、こういう特別委員会でこういう結論というか結果を受けて、今後どういうふうに進んでいくのか、ちょっとスケジュール的に、今わかっていることがあったら教えてください。

○生涯学習部長 まず、長期にわたりまして真剣に論議いただきましてありがとうございました。今、御質問でございますけれども、正式には3月の定例会のときに委員長報告ということで出るということでございますので、それを受けてという形になりますけれども、まずそれを受けまして6月定例会ですか、市の考え方も出させていたきたいというふうに考えております。アンケートにつきましては、7月上旬に発送いたしまして、9月の定例会に結果報告と方針の決定というような形で進めてまいりたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いたします。

○委員長 よろしいでしょうか。ほかに。行政側も来てますので質問があればと思いますが、なければよろしいでしょうか。

では、長期に新体育館に対する御議論をいただきました地域開発特別委員会、ここで一旦閉めたいと思います。この2年間大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

午前10時36分 閉会

平成27年2月2日（月）

委員会条例第29条の規定に基づき、次のとおり署名する。

地域開発特別委員会委員長 西條 富雄 印